

2022年度第3回主査会の開催

8月2日(火)に2022年度第3回目の主査会がリモート開催されました。当日の参加者は、事務局を含め11名でした。今回は、12月9日に開催予定のシンポジウムについて、前回主査会で各メンバーにお願いしたメインテーマ案と講師案について話し合われました。講師案については、様々な案が出されましたが、4人の候補に絞り、依頼交渉担当者をそれぞれ決めました。まずは第一候補の先生にコンタクトをとり、NGの場合は、第二候補の先生に当たる予定です。メインのテーマについては、これも幾つかの候補に絞りましたが、時間切れで一つに絞り切れず、後日メールで投票を取ることにいたしました。

第51回コミュニティ委員会の開催

8月3日(水)に第51回コミュニティ委員会がリモートで開催されました。今回の出席者は、事務局を含めて15名でした。今回は、各WGから活動状況の報告が行われた他、12月9日に開催予定のシンポジウムについて、その準備状況が報告されました。アジェンダは、以下の通り。
《アジェンダ》

1. 前回議事録の確認
2. 第58回企画委員会の議事共有
3. 各WGの活動状況
 - ① 人材育成WGの活動状況
 - ② 産応協セミナーWGの活動状況
 - ③ 産応協スクールWGの活動状況
 - ④ HPCものづくりワークショップWGの活動状況
 - ⑤ 対話交流会WGの活動状況
4. 第15回シンポジウムの準備状況について
5. その他

対話交流会と日本応用数理学会の打合せ開催

対話交流会WGでは、外部団体との交流と情報の共有を目的に活動しており、現在、次の交流先として日本応用数理学会様とのコンタクトを進めております。今回、共催イベントの開催に向けて、日本応用数理学会様の窓口の「ものづくり企業に役立つ応用数理手法の研究会」と打合せをリモートで8月4日(木)に開催いたしました。イベント開催予定日は、2023年2月10日に決まり、今回は、開催方法(会場実施又はリモート又はハイブリッド)や、参加者募集の方法、講演者等について話し合いました。開催方法については、昨今のコロナ禍の状況を考えリモート開催に落ち着きました。ハイブリッド(会場、リモート混合)については、開催工数を考え今回は残念ながら見送ることになりました。初の試みであり、両団体の意識合わせをしつつ、慎重に議論を進めております。年末か年明けには、参加者募集のご案内をできると思いますので、その際は振るってご参加登録ください。

HP CロードマップWGの開催

8月9日（火）にHP CロードマップWGがリモート開催されました。当日の出席者は、事務局を含め20名でした。今回は、各章立て担当ごとにドラフト版を持ち寄り、進捗状況、課題等について発表してもらい、全員で議論を重ねました。まだドラフト段階であるため、各章立てを合わせた時の統一感等についてはこれからですが、少しずつ形が見えて来ました。次回WGは、10月19日開催予定となりましたが、10月11日までに各担当毎に纏めた初稿版を主査当てに送り、主査が全体を集約した後、全章をメールで各メンバーに展開、事前に各人が目を通して次回WGに臨んでもらうことになりました。

人材開発WGコアメンバー会議の開催

8月22日（月）に人材開発WGのコアメンバー会議がリモートで開催されました。当日の出席者は、事務局を含め7名でした。今回は、前回7月28日に開催した全体WGでの議論を踏まえてコアメンバーで産応協としての人材育成の目的を整理しました。目的は、①HP C技術者の人材育成（産応協の中期事業計画より）、②製品開発や製造の技術課題に対しHP Cを活用して解決策を策定できる人材の育成の二つに絞り込まれました。①は産応協が開催するセミナーやスクールで対応していくべきものですが、②は各企業の共通課題としては、取上げることができないので、各企業で課題意識をもって取り組むべきもの、との位置づけで定義することになりました。

第51回産応協セミナーの開催

第51回産応協セミナーが、8月24日（水）、8月29日（月）の両日、WebEXによるリモートで開催されました。今回のテーマは、「サステナブル/カーボンニュートラル社会を展望するシミュレーション技術」と題し、5名の講師の方にお話しいただきました。参加者は、両日とも32名でした。講師の方の都合から、各企業の夏休み明けの開催となったことが影響したのか、今回は参加者が少なかったです。プログラムは、以下の通りでした。

《プログラム》

-8月24日-

- ・カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー・電力システムシミュレーション
東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻 教授 小宮山 涼一
- ・サステナブル/カーボンニュートラル社会へ後見する燃焼シミュレーション
九州大学大学院総合理工学府環境エネルギー工学専攻 教授 渡邊 裕章

-8月29日-

- ・サステナブル漁業に向けた人工知能技術の活用
滋賀大学大学院データサイエンス研究科 教授 飯山 将晃
- ・地域の脱炭素と資源循環に向けた技術導入を加速するデータプラットフォームの開発
東京大学「プラチナ社会」総括寄付講座 特任教授 兼松 祐一郎
- ・シミュレーションとインフォマティクスの融合活用による新材料設計
理化学研究所計算科学研究センター チームリーダー 中嶋 隆人

第59回企画委員会の開催

8月31日（水）に第59回企画委員会がリモートで開催されました。出席者は、事務局を含め23名でした。今回は、各WGより活動状況の報告が行われ、各委員からWG主査に対し質疑応答

がありました。また、シンポジウムの準備状況の報告が委員長からあり、こちらについても各委員より意見をいただきました。アジェンダは次の通り。

《アジェンダ》

1. 前回議事録の確認
2. 施策提言WGの活動状況報告
3. HPCロードマップWGの活動状況報告
4. 人材育成WGの活動状況報告
5. コミュニティ活動状況報告
6. 第15回産応協シンポジウムの準備状況について
7. 関連団体からのイベント協力要請について
8. その他

以 上

<p>【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】 住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階 電話：03-3435-5425 E-Mail：icscp_office@icscp.jp 担当：中川，滝口</p>

《新規産応協会員募集について》

産応協では、新規会員を随時募集しております。

会員種別には、正会員，準会員，登録会員の三種類を設けております。

関心をお持ちの方は、以下URL若しくはQRコードより詳細をご確認のうえ、申請頂きたくよろしくお願ひ申し上げます。

<http://www.icscp.jp/admission/>

